

## 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

東広島市立豊栄中学校

授業者 比舎 宏哉

授業者 森原 陽子

授業者 松下 憲子

- 1 日時・場所 平成28年9月29日(木) 第3校時 3年A組教室
- 2 学年・学級 第3学年(男子11名,女子5名,計16名)
- 3 単元名 郷土で共に生きる「地域ふれあいサロン訪問を通して」
- 4 単元について

### ○ 単元観

本単元は第1学年「地域を知る」(地域調べ)第2学年「地域に学ぶ」(職場体験学習)の学習の上に設定された単元である。学年が進むにつれ、地域とのかかわりが深まるように設定しており、地域の良さや課題を自分のこととして受け止め、地域に貢献することを通して、自己の生き方を考えさせることをねらいとしている。

少子高齢化や過疎化など、自分の住む地域がもつさまざまな課題に対して、自分たちが地域のためにできることは何かを考え、発信していくことは、地域の将来また自分の将来に向けて大きな意味をもつと考える。生徒たちは地域の方々と触れ合うことにより、生徒自らが地域の温かさを実感し、地域に支えられている自分たちであることを感じ取り、豊栄の良さを再認識するとともに、地域の一員としての自覚を高めることができる。併せてコミュニケーション能力の育成、相手意識をもった情報発信力の育成にもつなげたいと考える。

### ○ 生徒観

平成28年度「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙において、地域とのかかわりに関する設問及びその肯定的回答率は次のとおりであった。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」・・・・・・・・・・・・・・・・66.6%

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。」・・・・・・・・66.7%

「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。」・・・・73.3%

数値的には過半数を超えてはいるものの、積極的に地域に関わろうとしているとはいえない。また、表現力やコミュニケーション能力に関わる設問においても、次のとおり苦手意識があったり、消極的姿勢がみられたりすることが明らかになった。

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたり

することは難しいと思いますか。」・・・・・・・・・・・・・・・・86.7%

「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする

ことができていると思いますか。」・・・・・・・・・・・・・・・・53.3%

これらの課題に着目して、取組を進めたい。

### ○ 指導観

本単元の指導にあたっては、地域に貢献するために、自分たちにできることは何かという課題意識をもたせ、学習を進めさせたい。生徒が自主的に活動に取り組めるよう、課題の設定、必要な情報の収集方法、内容及び表現方法等の過程において、自分たちが次に何をすべきか投げかけ、課題に対する意識を高めさせたい。

また、表現に対する苦手意識を払拭させるため、まずはさまざまな形態の表現方法を身に付けさせ、多様な機会を設定して表現することに慣れさせる。また、発表に対する切り返しの発問をしたり、生徒同士で質問したりする場を設けるなどして、柔軟に対応できる力を養わせ、表現に対する自信をもたせたい。

仲間と協働して地域の課題解決に取り組もうとすることにより、豊栄に生きる一員として、地域を大切に誇りに思う気持ちを育ませるとともに、将来の自分の生き方を考えさせたい。

## 5 単元の概要

### (1) 単元の目標

地域の人々と触れ合うことを通して、地域の良さや課題、人々の思いを学び、仲間と協働して主体的に課題解決に取り組む姿勢を身に付け、豊かに生きる一員として、地域を大切に誇りに思う気持ちを育てるとともに、生き方を考えさせる。

### (2) 単元で身に付けさせたい資質や能力（コンピテンシー）

#### 【学習方法に関すること】

- ア 相手や目的に応じて、適切に情報を収集する。（適応力）
- イ 事実や情報、他の生徒の考えをもとに考える。（読解力）
- ウ 相手や目的に応じて、工夫して表現する。（表現力）

#### 【自分自身に関すること】

- エ 地域の人々とのかかわりを通して、自他の良さに気付く。（協働性）
- オ 自己の将来を考える。（活用力）

#### 【他者や社会のかかわりに関すること】

- カ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。（適応力）
- キ 自他の考えの良さを生かして、協働的に課題を解決する。（協働性）
- ク 地域の人々とかかわり、話したり聞いたりする等、コミュニケーションを図り、地域の在り方に興味をもつ。（コミュニケーション能力）

## 6 単元の評価規準

学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
①聞き取った内容を整理し、必要な情報を適切に取り上げている。 (ア) (適応力) ②他者の考えを参考にしながら自分の考えを深めることができる。 (イ) (読解力) ③相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。 (ウ) (表現力)	①地域に愛着をもち、次へ生かせる取組を考えている。(エ) (協働性) ②自分と地域の将来を見つめ、将来像を描いている。(オ) (活用力)	①異なる意見や、他者の考えを生かして、よりよい考えを生かしている。(カ) (適応力) ②グループで互いの良さを認め合い、協働して課題を解決している。(キ) (協働性) ③地域の方と積極的にコミュニケーションを図り、地域の将来を考えている。(ク) (コミュニケーション能力)

## 7 指導と評価の計画（全36時間）

月	時数	学 習 活 動	評価規準及び主な評価方法	
6	6	○第1回サロン訪問に向けて、計画を立てる。 ガイダンス。訪問内容を考える。電話をかけ、詳細の確認を行う。 <課題の設定>	学② 他①	ワークシート 行動観察
7	2	○第1回サロン訪問を行い、サロンの方々と交流する。 <情報の収集>	他③	行動観察
7 ・ 9	9	○第1回サロン訪問のまとめをする。 振り返りをする。壁新聞を作成する。発表会を行う。 <整理・分析> <まとめ・表現>	学①③ 他①	ワークシート 壁新聞 行動観察

9	1	○第1回サロン訪問で出された課題について、課題解決の方法を考える。【本時 1 / 1】 <整理・分析> <まとめ・表現>	自①② 他②	ワークシート 行動観察
10	6	○第2回サロン訪問に向けて、計画を立てる。 訪問内容を考える。プレゼントを作成する。電話をかけ、詳細の確認を行う。 <課題の設定>	学② 他①	ワークシート 行動観察
11	2	○第2回サロン訪問を行い、サロンの方々と交流する。 <情報の収集>	他③	行動観察
11	6	○第2回サロン訪問のまとめをする。 振り返りをする。パソコンを用いて活動内容をまとめる。 発表会を行う。 <整理・分析> <まとめ・表現>	学①③ 他①	ワークシート パワーポイント作品 行動観察
2	4	○総合的な学習の時間合同発表会に向けて、準備をする。 発表内容を吟味する。発表練習を行う。 <まとめ・表現> ○総合的な学習の時間合同発表会で発表する。 <まとめ・表現>	学③	行動観察

8 本時の目標 「豊栄の将来に向けて、自分たちに何ができるかをまとめる。」

本時の観点別評価規準

- グループで互いの良さを認め合い、協働して課題解決をしている。(他②)
- 地域に愛着をもち、次へ生かせる取組を考えている。(自①)
- 自分と地域の将来を見つめ、将来像を描いている。(自②)

9 準備物 ワークシート、電子黒板、付箋、ホワイトボード

10 本時の主体的な学びの観点  
協働性

11 本時の学習過程

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て) 主体的な学び	評価規準 [観点] (評価方法)	I C T機器の活用
導入	1 本時の目標と学習の流れを確認する。 ○本時の活動の見通しをもつ。	◇本時の授業の流れを全員で確認させる。 ◇本時の目標を全員で確認させる。		電子黒板
	豊栄の将来に向けて、自分たちに何ができるかをまとめる。			

<p>展開</p>	<p>2 豊栄の行事を発表する。</p> <p>○ホワイトボードを示しながら、どのようなことができるか個人で考える。</p> <p>○付箋をもとに、今自分たちにできることを全体で再検討する。</p> <p>○グループで、自分たちにできることをホワイトボードに示しながら、発表する。</p>	<p>◇地域行事を発表させ、自分たちにできることのイメージづくりをさせる。</p> <p>◇ホワイトボードで示しながら発表させる。 ◆必要に応じて質問やアドバイスをを行う。</p> <p><b>協働性</b> ◇意見を付箋に書かせる。</p> <p><b>協働性</b> ◆どの疑問や意見を取り入れたらよいか、アドバイスを</p>	<p>地域に愛着をもち、次へ生かせる取組を考えている。(自①) (行動観察)</p> <p>自分と地域の将来を見つめ、将来像を描いている。 (自②) (行動観察)</p> <p>グループ学習等で互いの良さを認め合い、協働して課題解決に取り組んでいる。(他②) (ワークシート) (行動観察)</p>	
<p>生徒の到達すべき姿 地域の方の意見をもとに、豊栄の将来に向けて考えたことをまとめている。</p>				
<p>まとめ</p>	<p>3 本時のまとめをワークシートに記入する。</p>	<p>◇振り返りの書き方を確認させる。</p>		